



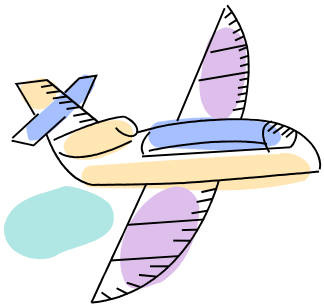
運輸サービス業界

2010年上期の回顧と下期の展望

2010.08.17

航空業界 – 2010年上期の回顧

- 国内線 総需要、3,604万人(前年同期比 +24%)
伯国主要航空会社構成比
TAM 39% GOL/VARIG 41% その他20%
- 国際線 総需要 774万人(前年同期比 +18%)
伯国航空会社 41% 外国航空会社 59%



航空業界 – 2010年下期の展望

- 国際ネットワークの拡充

伯国航会社のみならず外国航空会社も増便や

地方空港から北米や欧州を結ぶ便を拡充する動き

- 空港インフラ整備が急務

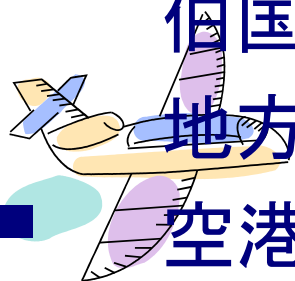
- 消費者保護の動き

利用者が受けることができる権利の例

1時間以上の遅延 通信手段(電話・インターネット)

2時間以上 搭乗までの飲食

3時間以上 休憩場所



海運業界 – 2010年上期の回顧



コンテナ荷動き動向（TEU=20'コンテナ換算）

| | 輸入 | | | 輸出 | | |
|--------|-------------|-------------|------|-------------|-------------|------|
| | 2009年 上期 | 2010年 上期 | 増減 | 2009年 上期 | 2010年 上期 | 増減 |
| 北米 | 97,000 | 151,000 | +56% | 124,000 | 139,000 | +12% |
| 欧州・地中海 | 143,000 | 229,000 | +60% | 256,000 | 257,000 | 0% |
| アジア | 202,000 | 373,000 | +85% | 165,000 | 156,000 | -5% |
| 全航路 | 535,000 | 902,000 | +67% | 913,000 | 915,000 | 0% |

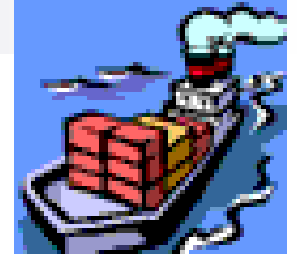
海運業界 – 2010年上期の回顧



コンテナ船

- 各航路とも09年後半から回復。
特に09年前半に大きく落込んだアジアからの輸入では前年比85%増。逆にアジア向輸出は、レアル安により09年前半には化成品が大量に動いたので-5%になっている。
- 鉄鉱石船（ケープサイズ 15～20万トン）
ケープサイズの市況は、09年1月以来の安値。中国の鉄鉱石輸入の停滞と新造船竣工が原因

海運業界 – 2010年下期の展望



コンテナ船

- 強い国内消費を反映してアジアからの輸入は今後とも堅調。ブラジルの港湾ターミナルの整備の遅れやアジア側でのコンテナ不足が深刻化している
- ドライバルク
中国向け成約が増え、8月以降上昇基調。
今後中国の動向によりマーケットは乱高下する

サントス港の滞船状況(8月3日11:00)



サントス港のターミナル拡張計画



フォワーダー業界 – 2010年上期の回顧



■ 日本発輸出航空貨物実績

全世界向け 559千トン（前年同期比＋53%）

米州向け 109千トン（前年同期比＋54%）

うちその他米州 6919トン（前年同期比＋33%）

■ 自動車・家電を中心に航空貨物需要は回復。

一方、貨物スペース不足や空港の処理能力を超え慢性的な滞貨が発生している。

■ 製鉄構内物流

鉄鋼生産の回復により、構内物流も回復

フォワーダー業界 – 2010年下期の展望



■ 航空貨物、海上貨物

電機・自動車の増産による物流増を期待。
またブラジルへの新規進出増による貨物増も期待。
貨物スペース不足や運賃値上げは続く

■ 製鉄構内物流

生産回復に伴い構内作業量も増加し、凍結されていた
投資案件も再開の見込みだが、競争環境は厳しい

■ クーリエ

09年末からテストを開始したクーリエ貨の電子通関システム(HARPIA)は、9月から本格稼動予定。

ホテル・観光業界 – 2010年上期の回顧



- 全体としてホテルの需要は増加、稼働率、宿泊料金とも上昇

| | | |
|-----|----------|--------|
| 稼働率 | サンパウロ | +13.2% |
| | リオデジャネイロ | + 3.1% |
| | サルバドール | + 8.8% |
| | クリチバ | +12.3% |

ホテル・観光業界 – 2010年下期の展望



- 2014年のワールドカップ、2016年のオリンピックに向け外国人の視察や観光によるホテル需要増の見込み
- 上期に続き稼働率、宿泊料金、RevPARの上昇を期待

通信・IT業界 – 2010年上期の回顧



<通信>

- 携帯電話加入者数: 1億8513万台(世界5位)
VIVO(ス)30% CLARO(墨)25% TIM(伊)24% OI (ポ)20%
- 3G携帯: 1390万台
- ナンバーポータビリティ: 受付699万台、移行550万台
- 固定電話加入者数(10年6月): 4371万台
- インターネットユーザー数(10年5月): 4698万人
- ブロードバンドユーザー数(10年3月): 1180万台

<IT>

- IT産業好調ながら、収益は苦しい

通信・IT業界 – 2010年下期の展望



- 下半期のIT投資を期待
- 企業内でのSNSツールの活用
- SASやクラウド コンピューティングの活用



ご清聴ありがとうございました